

丸山敬太氏デザインのニューウェア

30日に東京で発表会

宮坂建設工業 4月から導入

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は、東京を拠点とする世界的ブランド「KEITA MARYAMA」のデザイン・丸山敬太氏がデザインを手がけたワークウェア

京都内のホテル椿山荘東京で、新ワークウェアの発表会を開催する。

同社は、大正十一年の創業以来、北海道の開発・発展に貢献する総合建設業として、二十四時間防災体制を整えるとともに、地域・社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

こうした中、今回、創業

百周年を前に、十年間続いたワークウェアを一新することに。丸山氏がデザインしたワークウェアを導入するほか、オフィスで働く女性用の制服も刷新する。

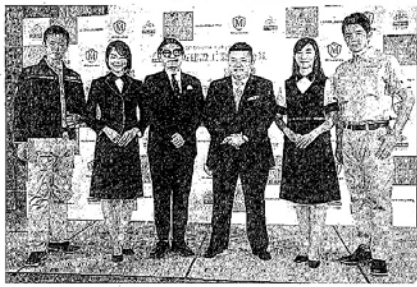
当日の発表会では、宮坂社長と丸山氏が新ワークウェア導入の背景や、コンセプトなどについて説明する予定となっている。

「3Kイメージを変える」

宮坂建設 新作業服を導入

宮坂建設工業（常広）は、4月から、世界的なデザイナー・丸山敬太氏が手掛けた作業服と女性社員用の制服を導入する。2022年に創業100周年を迎えるのを前に、企業のイメージ向上を図り、建設業を志す人材の確保につなげる。

丸山氏は音楽ユニット「ドリームス・カム・トゥルー」のボーカルで、十勝管内池田町出身の吉田美和



新しい作業服と制服を発表する宮坂社長（右から3人目）とデザインを手掛けた丸山氏（同4人目）

文社長は「建設業の3K（きつい、汚い、危険）のイメージを変えた」と。丸山氏は「この作業服を着て働きたいと感じる若い世代が増えれば」と話した。

丸山敬太さんがデザイン 宮坂建設工業の新制服



【東京】宮坂建設工業（本社常広、宮坂寿文社長）は、4月から、有名デザイナー・丸山敬太さんがデザインの新制服（左から4人目は宮坂社長）

紺色を基調に同社イメージカラーの黄色と緑色をラ

丸山さん（左から3人目）デザインの新制服（左から4人目は宮坂社長）

インなどであしらったデザイン。現場での作業服と事

務職など内勤の女性用の夏・冬物計4種類を作った。

丸山さんは「KEITA MARYAMA」ブランドでパリ・コレクションに出展し、ドリームス・カム・トゥルーや浜崎あゆみさんの衣装デザインなどで幅広く活躍する。作業服デザインは初めてで、十勝に8回ほど訪れ、現場見学もして試作を重ねた。

30日に都内で発表会を開いた。丸山さんは「厳しい自然に対する建設業の大変さを知り、いい経験になった」と振り返った。現在は同社の防寒服のデザイン中で「入社したい若者が増えれば」と期待した。

宮坂社長は「在京企業の顧客も多く東京での業務拡大も視野に入れている。建設業の3Kイメージを根本から変え、魅力的な企業を目指したい」と述べた。

（原山知寿子）



新ウエアを披露した宮坂社長（右から3人目）と丸山氏（左隣）

丸山敬太氏デザイン

宮坂建設工業が
ワークウエア一新

宮坂建設工業（北海道帯広市、宮坂寿文社長）は、創業100周年に先立ち、4月からワークウエアを一新する。今年創業95周年を迎えたのを機に、さらなる業務拡大と創業100周年に向けて新たな企業イメージを創造する狙いがある。刷新したのは、男性用作業服と内勤の女性用作業服。デザインは、世界的ブランド「KEITAMARYAMA」のデザインの丸山敬太氏が手掛けた。同ブ

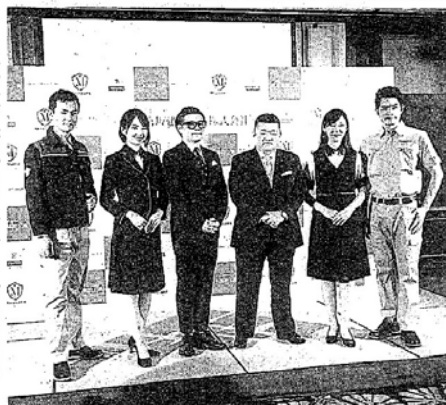
ランドが建設作業服を手掛けるのは初めて。

同社は30日、東京都文京区のホテル椿山荘東京で新ウエアの披露会を開催。宮坂社長と丸山氏が出席し、新ウエアの概要などを説明した。宮坂社長は「企業イメージを一新するため、制服を一新した。丸山氏には、『世の為人の為につくせ』の企業理念に賛同してもらい、立派なウエアが完成した。建設業の3K（きつい・汚い・危険）のイメージを根本から変え、従業員モチベーション向上につなげ、将来的には東京での事業拡大を目指す」と述べた。

男性用の新ウエアは、動きやすいことに加え、はっ水性・耐久性・防水性なども考慮して素材を選んだ。女性用はスタイルが良く見えるようにし、スカートにはしわになりにくい素材を使用した。

丸山氏は「ウエアのデザインに当たり、何度も北海道に足を運んだ。現場の方が情熱を持って作業する姿に、建設業は未来を作っている仕事だと感じた。今後、このウエアを見て、若い人にも宮坂建設工業に憧れを持ってもらい、入社してもらえればうれしい」と話した。

宮坂建設工業（本社・1日から一新する。著名帯広は作業服と制服をブランド「KEITA」



宮坂社長（右から3人目）と丸山氏を囲んで新制服を披露した

4月から作業服と制服一新

丸山敬太氏デザイン 東京で発表会

MARUYAMAのデザイナーである丸山敬太氏に依頼。3月30日、ホテル椿山荘東京で丸山氏と宮坂寿文社長が発表会を開いた。

丸山氏は1997年にパリコレクションでデビュー。機能性や作業性に優れ、同社のイメージカラーである黄色と緑を基調とし、清潔感と親しみやすさに配慮してデザインした。制服の更新は10年ぶり。3日に帯広市内の北海道ホテルで開く宮坂建設工業の入社式終了後、丸山氏も参加して発表会を行う。（帯広）

宮坂建設工業は、3年前から三越伊勢丹ビュー

マンソリユーションズで人材研修を受けており、それが縁で三越と伊勢丹にショップを持つ丸山氏を紹介された。丸山氏は昨年4月から宮坂建設工業の現場などを訪問。ポケットの位置や深さなど機能性や作業性に優れ、同社のイメージカラーである黄色と緑を基調とし、清潔感と親しみやすさに配慮してデザインした。制服の更新は10年ぶり。3日に帯広市内の北海道ホテルで開く宮坂建設工業の入社式終了後、丸山氏も参加して発表会を行う。（帯広）

丸山敬太氏がデザイン 新ワークウェアの発表会

導入のコンセプト等解説

宮坂建設工業



発表会では導入の背景やコンセプトなどについて説明した。

当日は、宮坂社長とデザインを手がけた丸山敬太氏が登壇し、関係者らに導入の背景やコンセプトなどについて説明。今月一日から、丸山氏も参加して発表会を行う。（帯広）

【帯広発】宮坂建設工業ワークウェアの導入を開始した。

（帯広、宮坂寿文社長）

は三月三十日、東京都内のホテル椿山荘東京で新ワークウェアの発表会を開催し、

周年を前に、十年間続いたワークウェアを一新すること。新ワークウェアは、東京を拠点とする世界的ブランド「KEITA MARUYAMA」のデザイナー・丸山氏がデザインを手がけた。

「KEITA MARUYAMA」として、建設作業服とコラボレーションするのは初めての試み。また、オフィスで働く女性用の制服も刷新した。

当日の発表会では、宮坂社長と丸山氏が登壇し、新ワークウェア導入の背景や、コンセプトなどについて説明。そのほか、新たなワークウェア・制服を着用してのフォトセッションなども行われた。

丸山敬太が建設会社の ワークウェアをデザイン



宮坂建設工業の新制服と丸山氏（中央）

細かなサイズでフィット感

デザイナーの丸山敬太が、北海道の宮坂建設工業（帯広市）の建設作業服と、女性のオフィス用の制服をデザインした。丸山が建設会社と協賛し、ワークウェアを手掛けたのは初めて。男性作業服は、紺地に企業カラーの緑と黄色を配し、視認性を高めたフルジーンズ、ベージュのワークパンツで構成。耐久性や撥水、防水性に加え、着心地を考慮し、ポリエステル混の通気性の高い素材を使用。品の良い信頼感を得られるワークウェアを目指し、細に磨き込むデザインにした。オフィス用作業服は一般的なサイズ感、SからLと細かくサイズ設定しフィット感を重視した。女性用は、襟に企業カラーの緑のトリミングを施したジャケット

ットシャツ、ベスに、座っても動きやすいフレアスカートの組み合わせ。スタイルが良く見える位置に切り替えラインを入れ、しわになりにくい素材を使い、キチンと見えるデザインを心掛けた。サイズは、17号と幅広く揃え、フィット感と動きやすさを両立させた。今回は創業95年を迎える宮坂建設が、100周年を前に制服の発表で企業イメージを刷新したい」と丸山（キツ、汚い、危険）と言われる建設業のイメージを高め、社員の尊敬を引き出す狙いで、丸山にデザインを依頼した。

「未知の分野だが、自らの口をひける面白さや、仕事と遊びの区別がなくなった。制服は企業の理念やあり方を表現するもの。制服が着たくて、宮坂建設に興味を持つ若い人が増える」と丸山。丸山が企画・監修、マミナが生産を請け負った。冬に向けて、翌20年度に対応する最新素材を使った防寒服も企画中だ。

新ワークウェア お披露目 宮坂建設工業が発表会



制作過程を話す丸山氏（中央）と新制服を着た社員

宮坂建設工業（宮坂寿文社長）は3日、帯広市内の北海道ホテルで行われた入社式で、今月から取り入れた社員向けの新ワークウェアを発表した。デザインを担当した有名デザイナー丸山敬太氏が出席し、制作過程

ミーツングに行き、話を聞こうとにももてきな会社だと感じた」と振り返った。

丸山氏は日本航空の制服を手掛けていた。丸山氏は今回の制作を振り返り、デザインの依頼を受けた際は驚いたとしながらも、「わくわくした気持ちでミーツングに行き、話を聞こうとにももてきな会社だと感じた」と振り返った。

（中島佑斗）

ブランドに負けない会社に

新ワークウェアの発表会

宮坂社長が決意語る

宮坂建設工業株式会社 代表取締役社長 宮坂 寿文氏

「ブランドに負けない会社」を掲げ、新ワークウェアを発表した宮坂建設工業株式会社の宮坂社長。新ワークウェアの発表会に出席した宮坂社長は、「ブランドに負けない会社」を掲げ、新ワークウェアを発表した宮坂建設工業株式会社の宮坂社長。新ワークウェアの発表会に出席した宮坂社長は、「ブランドに負けない会社」を掲げ、新ワークウェアを発表した宮坂建設工業株式会社の宮坂社長。

宮坂建設工業株式会社の宮坂社長は、新ワークウェアの発表会に出席し、社員のモチベーションを高めるための取り組みについて話した。宮坂社長は、新ワークウェアの発表会に出席し、社員のモチベーションを高めるための取り組みについて話した。

宮坂建設工業株式会社の宮坂社長は、新ワークウェアの発表会に出席し、社員のモチベーションを高めるための取り組みについて話した。宮坂社長は、新ワークウェアの発表会に出席し、社員のモチベーションを高めるための取り組みについて話した。

ひと

ロータリー

信頼や安全

感じる作業着

デザイナーの

丸山 敬太氏

○「相手に信頼を受けないといけない、安全を感じさせなければならぬ。作業着は、安全と信頼のシンボルだ。作業着は、安全と信頼のシンボルだ。作業着は、安全と信頼のシンボルだ。」

○「従来の作業着と違う点については「タウンウェア」として街の中に溶け込むようにシームレスに力を入れた。またユニフォームは、大

○「従来の作業着と違う点については「タウンウェア」として街の中に溶け込むようにシームレスに力を入れた。またユニフォームは、大

○「従来の作業着と違う点については「タウンウェア」として街の中に溶け込むようにシームレスに力を入れた。またユニフォームは、大

不動産業界の

ユニフォーム

新潮流

次世代を担う若年層の人材確保にも効果あり

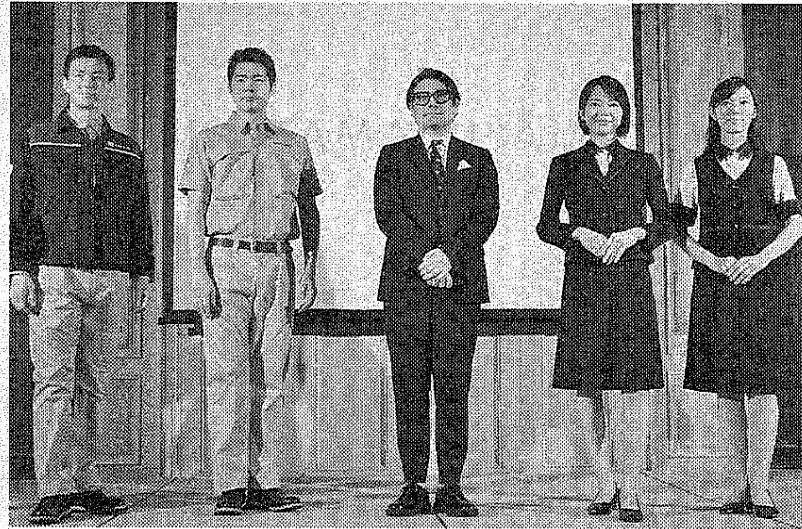
コーポレートカラーを取り入れた新ワークウェア

不動産業界のユニフォーム新潮流。次世代を担う若年層の人材確保にも効果あり。コーポレートカラーを取り入れた新ワークウェア。

不動産業界のユニフォーム新潮流。次世代を担う若年層の人材確保にも効果あり。コーポレートカラーを取り入れた新ワークウェア。

不動産業界のユニフォーム新潮流。次世代を担う若年層の人材確保にも効果あり。コーポレートカラーを取り入れた新ワークウェア。

三越伊勢丹 ファッションブランドで作業着 「ケイタ マルヤマ」が初



三越伊勢丹グループのファッションブランド「ケイタ マルヤマ」が手掛けた建設作業着が都内のホテルで発表された。北海道に拠点を置く建設会社・宮坂建設工業が発注したもので、レディースファッションが中心の服飾デザイナー・丸山敬太さんが自身のブランドで作業着を扱うのは今回が初めて。女性用の制服もブランドを統一して刷新され、注目を集めた。

「ケイタ マルヤマ」

挨拶する丸山さん



委託している宮坂建設工業から建設作業着・制服デザインの刷新の依頼があり、「ケイタ マルヤマ」として、初めて作業着を手掛けた。

丸山さんは「エレガン

視した。

発表会で宮坂建設工業

の宮坂寿文社長は「建設

業のイメージを根本から

変えてくれるデザイン

で、採用活動でのPRや

社員のモチベーション向

上に繋げたい」と喜びを

語った。

の「JAL」の客室乗務員の制服から舞台衣装まで、幅広いデザインを担う。ブランドは服飾雑貨を取り扱う三越伊勢丹系

の「マミーナ」から展開しており、東京・青山にブランドショップを持つ。今回は三越伊勢丹グループに社員研修・教育を

「ケイタ マルヤマ」ブランドによる建設作業着⑤と制服⑥をお披露目する丸山敬太さん④

ち合わせたデザインには苦労したが、作業着は初めてなので、色々と楽し

ませてもらった」と挨拶。現場に足を運び、社員の声を集めたエピソードなどを明かした。

作業着はコーポレート

カラーの緑と黄色を使い

ながら、寒暖に適応した

新素材を採用。道具が収

まるようポケットの収納

も工夫している。内勤の

女性制服は目立ち過ぎな

い品の良さと機能性を重

ワークウェアを刷新
丸山敬太デザイン



建設会社の宮坂建設工業(株)(北海道帯広市)は、3月30日、都内ホテルにて、新ワークウェア(作業服)の披露会を開催した。デザイナーは世界的ブランドとして知られる丸山敬太氏によるもので、作業服のデザインは初の試みである(P4に写真)。発表会では宮坂寿文社長と丸山敬太氏が登壇。建設作業服のほかに、オフィスで働く女性用の制服も刷新。記者発表の後に歓談会が開催された。